

徳島大学大学院創成科学研究科

地域創成専攻

Division of Regional Development

**令和5（2023）年4月入学
大学院入試説明会**

地域創成専攻の教育課程の内容・特色

創成科学研究科の構成

大学院 創成科学研究科

博士後期課程（2022年度設置）

博士前期課程（修士課程）

地域創成
専攻

臨床心理学
専攻

理工学
専攻

生物資源学
専攻

学部

総合科学部

理工学部

生物資源
産業学部

文系

理系

持続可能な地域社会の未来を創る

地域創成専攻

Division of Regional Development

創生・・・生み出す

創成・・・創り上げる

地域の諸アクターと積極的に関わりつつ、持続可能な地域社会の未来を創り上げていく。

グローバル化する多様な地域課題

- 人口減少・過疎化への対応
 - 行政・住民・NPO の連携による共助社会づくり
 - 地域防災力の向上
 - 地域資源を生かした地域ブランド・地域ビジネスの創出
 - **多文化共生のまちづくりの推進**
 - **中小企業のグローバル化・海外進出支援**
 - **国際交流, 国際協力の推進**
- など

総合的な視点を踏まえ、グローバル化する地域の社会・文化・健康等の課題の解決に主体的に貢献できる人材を養成

社会課題

文化課題

- 地域文化資源を生かした観光戦略の推進
(インバウンド増加を含む)
 - 地域の伝統文化・文化財の保存と活用
 - LED, アートによる地域活性化
 - **地域文化情報のグローバルな発信**
 - **「文化」を核にした国際交流, 異文化理解の推進**
- など

健康課題

- 地域包括ケアシステムの推進
 - 高齢者の健康対策, 介護予防策の推進
 - 子ども, 子育て支援の充実
 - 災害に強い福祉のまちづくり
 - アウトドアスポーツによる地域活性化
 - **外国人福祉・医療の整備**
 - **海外医療援助・協力**
- など

地域創成専攻の教育課程

地域創成専攻修了までの教育課程

修了

入学

学位論文

学位論文
指導科目

教育クラスター
一科目

専攻専門科目

専攻基盤科目

研究科共通科目

修士（学術）

計 32 単位
以上

9 単位

6 単位以上

8 単位以上

5 単位

4 単位以上

修了に必要な
単位数

地域創成専攻の学びの特色①

分野横断により総合的視点を醸成するカリキュラム

■研究科共通科目

(データサイエンス, グローバルコミュニケーション, 科学技術論 等)
文系・理系の枠を超え, 物事を多面的に捉える視点を身につける。

■教育クラスター

産業界や社会のニーズを踏まえた重要課題について, 学際的・分野横断的な知識・技能を身につける。

防災・危機管理, 地域開発, メディカルサイエンス, ロボティクス
・人間支援, データサイエンス, 環境共生, 6次産業

■領域横断セミナー

異なる研究室(専門分野)の学生がともに研究発表・討議等を進める中で, 多面的な分析視点, 手法を理解し, 論理的思考力, 表現力等の向上を図る。

専攻横断

専攻内横断

地域創成専攻の学びの特色②

地域の諸アクターと連携した課題解決型の実践教育

■地域創成論

講義

徳島県内で地域課題の解決に積極的に取り組んでいる行政・NPO・地域組織・企業等のアクターをゲストスピーカーに招き、その解決方法をワークショップ形式でともに考える。

■地域創成プロジェクト研究

演習

徳島県内の社会・文化・健康等に関わる地域課題をテーマとして、現地のアクター（行政、NPO、地域組織、企業等）と共同で調査研究を行い、課題の解決策を提言する。



地域創成専攻の学びの特色③

グローバルな視点を備えた地域創成人材を養成するカリキュラム編成

地域の社会・文化・健康課題の解決に対応できる人材を養成するカリキュラム

専攻専門科目

地域系科目

社会課題

地域計画学特論
地域社会特論
公共政策特論
空間情報科学特論
地域文化特論
地域言語特論
映像デザイン特論
福祉社会特論
健康科学特論
健康心理学特論
など

文化課題

健康課題

社会・政策系, 文化・情報系, 健康・福祉系

グローバル系科目

グローバル社会特論
グローバル文化特論
国際関係特論
国際経済特論
応用倫理学特論
言語コミュニケーション特論
英語圏文化特論
アジア文化特論
日本文化特論
など

グローバル課題系, 多文化理解系

×
併修

専攻Webサイト

https://www.tokushima-u.ac.jp/ias/graduate_school/chiikikagaku_master/

graduate school

大学院創成科学研究科 地域創成専攻 (博士前期)

[トップ](#) › [大学院案内](#) › [地域創成専攻 \(修士\)](#) › [大学院創成科学研究科 地域創成専攻 \(修士\)](#)



グローバル化の視点を踏まえ、地域の社会・文化・健康課題を理解、解決しようとする視座

グローバル化課題を含む多様な地域の諸問題の解決に主体的に貢献できる地域創成実践人材の養成

入試について

試験日程・募集人員

推薦入学特別入試

出願期間：6月8日(水)～6月10日(金)(必着)

合格発表：7月12日(火)10時

選抜方法：書類審査および面接

6月25日(土) 4名

面接について

- **口頭発表（5分間）＋口述試験**
- **提出書類（志望動機，これまでの学修・研究の経過，今後の研究計画など）の内容について十分に説明できるように準備しておく。**
- **それ以外の質問が出る可能性もある。**

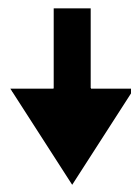
The image shows two pages of a recruitment application form. The left page is titled '志望・研究計画等調書' (Statement of Intent and Research Plan) and is for the 'Department of Psychology' (心理学専攻). It includes fields for '氏名' (Name), '受験番号' (Exam Number), '志望専攻名' (Desired Major), '受験科目' (Exam Subjects), and '入学後志望する指導教員名' (Desired Supervisor). Below these fields are sections for '志望動機' (Statement of Intent) and '研究計画' (Research Plan). The right page is titled '志望動機' (Statement of Intent) and contains a large area for writing the applicant's motivation and research plan.

募集要項巻末様式

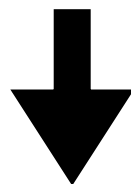
希望する指導教員と事前に研究相談を

出願前に、指導を受けたい教員に連絡し、
大学院での研究に関する相談をしてください。

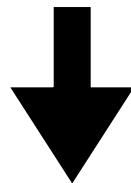
教員にメールで連絡



研究テーマ・方法・進め方などの相談



研究計画などの書類作成



出願

希望する指導教員と事前に研究相談を

地域系 研究指導教員 21名

社会・政策系	田口太郎	まちづくりプロセスに関する研究
	矢部拓也	地域社会やまちづくりに関する研究
	小田切康彦	地方自治体の政策に関する研究
	上原克之	行政法の基礎理論の研究
	趙タン	マクロ経済学及び人口経済学に関する研究
	豊田哲也	都市問題や地域格差に関する経済地理学的研究
文化・情報系	高橋晋一	日本および東アジアの民族文化に関する研究
	村上敬一	現代日本語に関する社会言語学的研究
	中村豊	日本および東アジア考古学研究
	衣川仁	日本中世史に関する研究
	石田基広	データサイエンスに関する研究
	河原崎貴光	メディアアートと現代美術の制作
	佐原理	映像デザインに関する研究
	掛井秀一	情報通信技術の空間デザインへの適用に関する研究
	塚本章宏	空間情報科学・地理情報システムに関する研究
健康・福祉系	佐藤充宏	地域のスポーツ振興方策に関する研究
	三浦哉	身体活動による生活習慣病・介護予防に関する研究
	渡辺克典	医療・福祉に関する社会学的研究
	山口鉄生	運動器疾患と予防医学に関する研究
	中塚健太郎	実力発揮や健康増進に関するスポーツ・健康心理学の研究
	羅成圭	健康科学・スポーツ科学における運動栄養学の研究

希望する指導教員と事前に研究相談を

グローバル系 研究指導教員16名

グローバル課題系	山口博史	他民族地域, 境界地域, 地方都市に関する社会学的研究
	内藤直樹	地域文化の動態と開発・援助に関する研究
	饗場和彦	安全保障・民主主義・ジャーナリズムの研究
	山口裕之	フランス近現代哲学に関する研究
	熊坂元大	応用倫理学に関する研究
多文化理解系	中島浩二	コーパスを用いた言語分析, Pythonによる語学教材ソフトの開発
	山田仁子	認知言語学および語用論等の視点からの言語研究
	吉田文美	20世紀以降の英米文学および英米文化に関する研究
	山内暁彦	英語圏文学における諷刺とユーモアに関する研究
	佐久間亮	近・現代イギリス史と植民地支配の研究
	依岡隆児	グローバルな視点からの比較文学・比較文化研究
	田中佳	フランス文化史・美術史に関する研究
	荒武達朗	中国近現代史に関する研究
	新田元規	中国および日本の思想文化史に関する研究
	堤和博	日本古典文学に関する研究
	河田和子	日本近現代文学に関する思想的研究

学びのサポート

入学後の学修支援について

- 授業料の減免制度（半期ごとに申請）
 - 各種奨学金
 - TA（ティーチングアシスタント）
 - 学会参加補助
 - 学生表彰
- など

社会人学生の方へ

- 授業の開講については、個別に柔軟に対応（夜間開講を含む）
- メール，ZOOMなどによる遠隔指導
- 長期履修制度

仕事の都合等で，2年間（標準修業年限）を超えて計画的に教育課程を履修，修了したい。

→2年分の授業料を，許可された期間（最大4年）に分割して納入できる。

3年間で計画的に修了



授業料は2年分

大学院修了後の進路

地域・社会で求められる地域創成人材

地域のニーズ

『新未来「創造」とくしま行動計画』（徳島県，平成27年7月）

過疎・高齢化対策，観光開発の推進，健康社会づくり，地域のグローバル化対応等，多様な地域問題を率先して取り組むべき課題として挙げている。

国の政策

『まち・ひと・しごと創生総合戦略』（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部，平成30年6月）

地域のグローバル課題を含む地域づくり（地方創生）を重要課題とする方針を打ち出す。

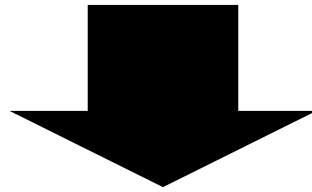
地域・社会のニーズに対応

本専攻の養成する人材

総合的かつグローバルな視点を備え，地域課題の解決と，接続可能な地域社会の創成に主体的に貢献できる高度実践人材

地域・社会で求められる地域創成人材

過去3年間に徳島大学に求人募集のあった全国の企業・団体等4,118件に**地域創成専攻修了生の採用意向**を問うアンケート調査を実施（2019年1月実施，回答数721）。



73.9% の企業・団体が、地域創成専攻の修了生を「積極的に採用したい」「採用したい」「採用する可能性はある」と回答

大学院修了後に想定される進路

グローバル化する
社会課題
の解決能力を身につける



地方公務員（地域開発・防災等の分野）
地域開発コンサルタント・地域シンクタンク研究員
まちづくり関連NPOの職員・研究員
企業人（観光業、情報・サービス業等）
マスコミ
博士課程進学 等

グローバル化する
文化課題
の解決能力を身につける



地方公務員（文化振興・国際交流等の分野）
地域開発コンサルタント・地域シンクタンク研究員
国際協力関連NPOの職員・研究員
学芸員
企業人（観光業、情報・サービス業等）
文化施設職員
博士課程進学 等

グローバル化する
健康課題
の解決能力を身につける



地方公務員（保健福祉・スポーツ振興など）
地域開発コンサルタント・地域シンクタンク研究員
医療・福祉関連施設職員
企業人（医療機器メーカー、情報・サービス業等）
健康増進施設
博士課程進学 等

質疑応答

個別相談

大学院創成科学研究科 地域創成専攻について

創成科学研究科の構成

博士課程（2022年4月開設）



大学院 創成科学研究科

博士前期（修士）課程

地域創成
専攻

臨床心理学
専攻

理工学
専攻

生物資源学
専攻

柔軟な分野横断型教育の導入

教育の基盤は各専攻

学部

総合科学部

理工学部

生物資源
産業学部

文系

理系